

参加者名 () ゴミ 2キロ以上 非常に多い

- 昨年より1週間遅い調査となった。●昨年より気温水温が高め。調査中に気温が低下した。
- 水質は良好。●生物は少ない。
- 数年ぶりにホタルトビケラ(携巢性のトビケラ)の幼虫が確認できた。
- 気温が高いせいか、アメンボ類が少数活動していた。
- 下流部では、昨年と違い、水路沿いの草刈りがされていないので、水路沿いにタネツケバナ、土手にツクシが見られた。●上流舞ではセリの生育が昨年よりも良好であった、
- ゴミが多く、ガラス片が多く見つかった。回収に苦労した。
- 近隣の人の話では、川にゴミを捨てている人がいるとのことで、心配である

【水質調査結果】

調査項目	下流側(横須賀線沿い)	上流側(キショウブ、土砂撤去後)
気温(℃)	18	14.5
水温(℃)	16	17
COD(mg/L)	6	4
COD/D(mg/L)	5	4
硝酸(mg/L)	1	1
亜硝酸(mg/L)	0.02	0.02
アンモニウム(mg/L)	0.2	0.2
リン酸(mg/L)	1	1.5

【生物調査結果】

30分・3名

種類名	下流側(横須賀線沿い)	上流側(植生ロール撤去後)
ヨシノボリ類(稚魚)	2	
ヌマエビ類	5+	3
ミスムシ	1	
固着性トビケラ(石の裏)毎回見つかるもの	+	+
ホタルトビケラ幼虫	1	2
小型カゲロウ類幼虫	10+	10+
ヤマサナエ幼虫	1	
シマアメンボ	1	1
コセアカアメンボ	2+	
ヒメアメンボ?	5+	10+
カワニナ	10+	10+
モノアラガイ類	1	1
サカマキガイ	2	10+

2026年3月21日 かまくら環境会議 鎌倉市扇川の調査の様子



下流部の様子 ツクシやタネツケバナが咲いていた。



上流部の様子 昨年に比べ、セリが多く飼育しており、植生が回復していた。



下流部の調査風景



上流部の調査風景



回収されたゴミ、多かった



下流部で見つかった生物



久しぶりに見つかったホタルトビケラ幼虫



久しぶりに見つかったヤマサナエ（トンボ）の幼虫